

平成 24 年 12 月 24 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 角田 卓也
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問い合わせ先) 取締役管理本部長 山本 和男
電話番号 044 - 820 - 8251

新規標的分子を阻害する低分子化合物に関する論文公表のお知らせ

この度、当社とシカゴ大学中村祐輔教授のグループとの共同研究による、抗がん剤の新規標的分子 MELK (maternal embryonic leucine zipper kinase) を阻害する低分子化合物に関する論文 (表題「Development of an orally-administrative MELK-targeting inhibitor that suppresses the growth of various types of human cancer」) が、Oncotarget 誌に公表されましたので、お知らせいたします。

中村祐輔研究室のゲノム包括的遺伝子解析により発見された新規キナーゼである MELK は、乳がんなどの様々ながん種で発現が亢進していることが既に確認されております。本論文において、この MELK が、がん細胞の増殖および、がん幹細胞の形成と維持に重要な役割を果たすことが報告され、抗がん剤の有望な新規標的分子であることが考えられます。さらに、MELK に対して極めて高い阻害活性を有する低分子化合物が見出されました。この低分子化合物は乳がん、肺がん、前立腺がん、膵臓がんのモデルマウスを用いた動物試験において、静脈内・経口の両方の投与経路により、顕著な腫瘍増殖抑制効果を示すことを確認いたしました。

論文内容の詳細につきましては、Oncotarget 誌の以下の Web ページをご覧ください。

(<http://www.impactjournals.com/oncotarget/index.php?journal=oncotarget&page=article&op=view&path%5B%5D=790>)

当社は、がん細胞において特異的に発現する遺伝子の網羅的解析により単離されたがん関連遺伝子情報、がん関連遺伝子が作り出すタンパク質その他の遺伝子産物の機能解析情報等の成果を活用し、本新規低分子化合物をはじめとした低分子医薬・がんワクチン医薬・抗体医薬・核酸医薬などの研究開発に取り組んでおり、より副作用が少なく治療効果が高いがん治療薬を一日も早くがんに苦しむ患者さんに届けるべく、今後とも研究開発に邁進してまいります。

以上